

平成28年度(第39期)事業報告

平成28年4月1日から29年3月31日まで

I 事業の状況

郷土おかやまの自然や文化的遺産に対する県民の理解を深め、保護・保全・景観の美化等に努めるとともに、郷土ゆかりの先賢の顕彰と、伝統に根ざした新たな地域文化の創造を目指し、県、市町村、民間団体等と連携して次の事業を実施した。

1 文化財等保護活用事業

(1) 岡山の文化的遺産等の保護、活用に関する事業

① 備中漆復活支援

ア 備中うるし利活用協議会の事務局運営

復興の兆しが見えてきた「備中漆」の利活用を考えるとともに、岡山県の漆工芸の振興に寄与する事業を実施することを目的に、平成23年度末に岡山県、備中漆の産地自治体、漆工芸の有識者等で設立された「備中うるし利活用協議会」の事務局として、会の運営にあたりるとともに、普及啓発事業の実施に努めた。

総会 10月5日(水)、3月15日(水)

イ 第3回 もっと伝統工芸 備中漆展の共催

新見美術館 2月11日(土)～4月2日(日)

備中漆復興20年を記念し、平成26年から始まった展覧会の第3回展として、日本伝統工芸中国支部の漆芸、木竹芸会員を中心に、新見市で活動する漆芸の「地域おこし協力隊」3作家も加え、総勢およそ35作家に、新見市産の備中漆を使用した作品の制作を依頼し、その発表等の展示を実施した。

② 文化財庭園後楽園の保護・活用

ア 後楽園の伝統行事等に併せた行事等へ彩りを添える取組

- ・ 茶つき祭(5月15日) 茶つき体験事業
- ・ 観蓮節(7月3日) 延養亭での箏曲演奏、茶席等
- ・ 名月観賞会(9月15日) 延養亭での箏曲演奏、茶席等

- ・ タンチョウの園内散策
9月11日(日)、25日(日)、10月2日(日)、23日(日)、30日(日)、
11月6日(日)、1月1日(日・祝)、3日(火)、2月5日(日)、12日(日)

イ 後楽園の魅力発信のための財団独自の取組

- ・ 内田百閒と「摩阿陀会」 展示と朗読(「春の幻想庭園」期間中)
参加者 朗読会 70人、展示会約550人
日 時 5月14日(土) 展示及び朗読、15日(日) 展示
展 示 午前10時～午後9時
朗読会 午後6時30分～8時 朗読 中村恵美氏、坂本美香氏
場 所 岡山後楽園鶴鳴館本館(朗読は鶴鳴館)
- ・ 初夏の延養亭特別公開 5月21日(土)～29日(日)
午前10時から1日6回(土、日は7回) 各回25分程度
参加者 1,129人
- ・ 岡山後楽園のハナショウブ株分け体験教室開催 6月28日(火)
- ・ 岡山後楽園苔玉づくり体験教室の開催 9月6日(火)
- ・ 「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催
会 場 岡山後楽園能舞台 10月16日(日)
番 組 能「班女^{はんじよ}」、「春日龍神」
出演者 観世流 山崎 浩之、山崎 芙紗子ほか
番 組 狂言「舟船^{ふねふな}」
出演者 大蔵流 茂山 あきらほか
解 説 京都府立大学教授 山崎 福之
参加者 約350人
- ・ 秋の延養亭特別公開 10月24日(月)～10月30日(日)
午前10時から1日6回 各回25分程度
各回15名 参加者 529人
- ・ 第6回後楽園写真コンテスト～後楽園の花と木
募集期間 8月1日(月)～9月30日(金) 応募総数 210点
審査 10月5日(水)
最優秀賞 1点、優秀賞 2点、入選 15点、佳作 20点

表彰 12月23日(金・祝) 鶴鳴館

写真展 12月23日(金・祝)～1月9日(月・祝) 鶴鳴館本館

- ・ 後楽園オリジナルカレンダー『後楽園の花と木』販売
A4版オールカラー中綴じ型

ウ 後楽園の歴史的、文化的価値を国内外の人によりよく知ってもらうための取組

- ・ 「後楽塾(後楽園専任ボランティア育成)」への協力

(ア) 12期生募集 8月17日(水)～10月11日(火) 入塾式 11月9日(水)

基礎講座(11月9日(水)から3月まで15回)

修了後、平成29年3月17日(金)から平成31年3月31日(日)までの2年間、

園内及び岡山城のボランティアガイド活動

入塾人員 13名(応募 13人)

内訳:男性 5名、女性 8名

内、外国語対応は英語 3、韓国語 3・中国語 1、

英語・イタリア語 1、英語・中国語 1

(イ) 10期生卒塾式 3月17日(金) 10人(内訳:男性4人、女性6人)

平成26年11月に入塾、園内ガイドやイベント運営などの活動をしてきたが平成29年3月31日(金)に任期満了。卒塾後後楽園登録制ボランティア「キラリ応援隊」に登録し、引き続きガイド活動を行う。

(ウ) 12期生出発式 3月17日(金)

- ・ キラリ清掃活動 年21回

キラリ応援隊一日隊 12月4日(日)午前9時～10時30分

ボランティアによる園内の一斉清掃、参加者には後楽園無料入園券を1枚進呈

- ・ 「岡山後楽園史」、「岡山後楽園なるほど大百科」の頒布
- ・ 後楽園公式HPの開設、更新

エ 後楽園の入園者への利便性向上の取組

- ・ 音声ガイド、コインロッカー等のサービス
- ・ 記念メダル、新茶、紅茶等の頒布

③ 木堂生家等の維持管理への協力

ア 補修・修繕

- ・ 生家の補修(雨戸、土塀)、シロアリ駆除(県工事)

・木堂記念館への土橋補修(県工事)

イ 標識・表示板の更新

ウ 寄附金を活用して木堂塾へエアコン設置

④ 自然保護事業

ア 蒜山タンチョウの里(真庭市)の支援

引き続き運営支援を行った。

イ (公社)日本ナショナル・トラスト協会との連携

全国のトラスト活動について情報収集を行うとともに、行事等の情報提供を行った。

(2) 岡山県ゆかりの先賢の顕彰に関する事業

① 「内田百閒記念碑園」の維持管理

内田百閒記念碑園(岡山市中区旭川河川広場)の維持管理を行った。

② 岡山県庁分庁舎(旧三光荘)百閒コーナーの管理

随時展示替えを行った。

③ 「池田光政公御涼所跡」の維持管理

平成22年度に整備した池田光政公御涼所跡の「甘棠碑と遺愛榊碑」及びウメ(花香実)
の広報並びに地元町内会等と協働して維持管理に努めた。なお、ウメについては、間引き
と移植を行った。

④ 内田百閒と「摩阿陀会」 展示と朗読(再掲)

岡山後楽園春季夜間特別開園「春の幻想庭園」

百閒の5月29日の誕生日を祝って開かれた「摩阿陀会(まあだかい)」とそこに集ま
った人々とのあたたかい交流を関係資料と朗読で紹介した。

2 普及啓発事業

(1) 講演会・研修会等の開催

① 郷土文化講座(岡山県立図書館)

ア 『「恐竜発掘はいったい何の役に立つの」と問われて?』 1月31日(火)

講師 石垣 忍 (岡山理科大学生物地球学部教授)

受講者 46人(うち会員 38人)

イ 「漱石ゆかりの岡山びと」 2月14日(火)

講師 池田 武彦 (岡山ペンクラブ会員) 受講者 45人(うち会員 31人)

ウ 「岡山県の軽便鉄道」 2月21日(火)

講 師 在間 宣久 (前岡山県立記録資料館館長)

受講者 75人(うち会員 49人)

エ 「備前刀モノ語り」 3月7日(火)

講 師 植野 哲也 (備前長船刀剣博物館学芸員)

受講者 42人(うち会員 25人)

② 第6回おかやま文化フォーラム

共 催:岡山県

後 援:山陽新聞社

日 時:12月10日(土) 13時～16時

会 場:岡山県立美術館2階ホール

テーマ:「今、中世の実像を求めて 時代の変革と地域」

基調講演 『備前地域の戦国最末期史―「中国戦役」を考える―』

岸田裕之 広島大学名誉教授

事例発表 1 「宇喜多直家の備前統一と岡山平野」

森俊弘 地方史研究会会員

事例発表 2 「考古学から見た中世城館―旭川流域・吉井川流域・神代川

流域の調査事例から―」

島崎東元 岡山県古代吉備文化財センター総括参事

パネルディスカッション 司会 久野修義 岡山大学大学院教授

参加者 約200人

③ 現地研修会

ア 由加山蓮台寺と下津井を訪ねる現地研修会 4月27日(水)

江戸時代の姿を残す池田家祈禱所の由加山蓮台寺客殿、田の口港周辺、「むかし下津井廻船問屋」等下津井の町並散策、「下津井城址」車内解説等

参加者 42人(うち会員 37人)

イ 姫路城と赤穂城を訪ねる現地研修会 6月9日(木)

池田家ゆかりの築城当時に復元された世界文化遺産・国宝姫路城(天守、西御屋敷跡庭園好古園等)の散策及び国史跡赤穂城(復元が行われている二の丸庭園,本丸御殿等)を赤穂市教育委

員会中田宗伯文化財担当課長の解説で見学 参加者 53人(うち会員 35人)

ウ 東寺百合文書世界記憶遺産登録記念 新見荘ゆかりの地を訪ねる現地研修会

11月5日(土)

岡山県立博物館特別展「新見荘～中世荘園の記憶～」を観覧後、新見市内に点在する豊岡屋敷跡や「たまがき」碑が建つ領家方政所跡、祐清殺人事件の現場を事件があった地頭方政所跡から実際に歩いて見学した。

解説 県立博物館 竹原伸之学芸課長、辰田芳雄(岡山地方史研究会)

新見荘 辰田芳雄(岡山地方史研究会)

参加者 42人(うち会員 30人)

エ 清水比庵ゆかりの地を訪ねる現地研修会 11月18日(金)

高梁市出身の清水比庵(1883～1975)は、歌・書・画三位一体の比庵芸術として独自の境地を開いた岡山を代表する歌人・書画家で、栃木県の日光町長を務めるなど多方面で活躍。生まれ故郷である高梁、戦時中、妹の住む笠岡に疎開し「笠岡は自分の心(芸術)のふるさとだ」と言っていた笠岡など県内のゆかりの地を訪ねた。

解説 特別展「清水比庵と川合玉堂」展 遠藤堅三吉備路文学館前館長

清水比庵記念室 加古一朗高梁文化交流館主任学芸員

清水家菩提寺(笠岡市) 長田暁一元威徳寺住職

参加者 25人(うち会員 22人)

④ 特別解説会等

ア 企画展「すみいろー古筆・宸翰・大名の書ー」美術鑑賞会(林原美術館)

5月12日(木)

初公開の藤原定家「明月記」をはじめ、鎌倉時代の新出資料等の館蔵の書を、古筆、天皇の宸翰、そして大名の書に分けて魅力を紹介。さらに岡山県立博物館・岡山大学附属図書館と連携して、豊臣家が滅びた「大坂の陣」に関連する資料も特別展示、紹介

解説: 浅利尚民学芸課課長

参加者 31人(うち会員 19人)

イ 岡山県立美術館 特別展「原田直次郎展 西洋画は益々奨励すべし」 6月29日(水)

岡山鴨方藩出身の兵学者・原田一道の次男として幕末の江戸に生まれた原田直次郎(1863-1899)の初期から晩年にいたる作品や資料とともに、師弟関係や親交のあった画家の作品も交えて、その軌跡をたどる。なお、回顧展としては、友、森鷗外が1909(明治42)年に開催した遺作展以来、お

よそ100年ぶりとなる。

解説：橋村直樹学芸員

参加者 28人(うち会員 23人)

(3) 第十三回岡山県「内田百閒文学賞」の運営

主催 岡山県、(公財)岡山県郷土文化財団

財団独自の取組として、審査員を交えた受賞者座談会の開催や、受賞作品集の刊行・頒布等を行った。

① 第十三回岡山県「内田百閒文学賞」受賞者・最終審査員座談会

日 時 平成29年3月16日(木)午後2時50分～3時50分

場 所 岡山県立美術館ホール

出席者 受賞者 畔地里美、伊藤大輔、小浦裕子、馬場友紀

最終審査員 小川洋子、平松洋子、松浦寿輝

来場者 160名

② 第十三回内田百閒文学賞作品集

発行部数 1,000部

発行者 作品社

定 価 1,000円(税込)

収録作品

《最優秀賞作》 プラット 畔地里美

《優秀賞作》 桃の寺 伊藤大輔

夏眠腺 小浦裕子

大正受験事情 馬場友紀

(4) 定期刊行物、映像資料、印刷物等の作成、頒布

① 定期刊行物

ア 広報誌「きび野」の発行

第142号(6月)、第143号(9月)、第144号(1月)、第145号(3月)

各4,000部

イ 財団ニュース「お知らせ」送付 適宜

ウ 郷土文化講座講義録「岡山の自然と文化」 No.36を編集、配布した。

平成27年度郷土文化講座の講義録

2,300部(3月)

- ② 県民愛唱歌「みんなの心に」の頒布
 県庁売店「生活彩家」でも頒布を開始
- ③ ホームページの更新等 随時
 財団事業の普及を図るため、ホームページの充実を行った。
- ④ 既作成の映像資料、印刷物等の頒布 随時
 岡山県自然・文化財シリーズ、岡山県人物シリーズ等
- (5) 「文化財団の歩み」の編集
 引き続き財団発足以来の歴史を編集した。
- (6) 内田百閒及び生田安宅(医学者)資料の保存、公開
 遺族などから寄贈された内田百閒及び生田安宅ゆかりの品々を保存、資料提供した。
- (7) 財団収集資料の公開
 引き続き、収集資料の寄託による公開等を行った。
- ア 植物関係図書・文献の整理公開
 ・植物研究家難波早苗氏から譲渡された資料(書籍約5,300冊、雑誌約7,000冊)を県立図書館に寄託
 ・植物標本(約3,300点)を岡山県自然保護センターに寄託
- イ 郷原漆器資料の公開
 財団が郷原漆器復活のために収集した郷原漆器(約60種類、約700点)を岡山県立博物館に寄託
 関連展示 岡山県立博物館 平常展 春季展
 備中漆と郷原漆器～新収蔵資料紹介 3月2日(木)～3月26日(日)
- ウ 郷土画家の秀作の公開
 財団が購入及び寄贈を受けた郷土画家の秀作(6人、10点)を岡山県立美術館に寄託
- (8) 資料収集・調査研究
 文化財等や先賢に関する資料の収集、保存を進めるとともに、その成果の活用に努めた。
- ア 岡山後楽園関係資料
 岡山県から寄託 明治43年行幸記念写真帳
- イ 犬養木堂関係資料
 ・犬養 拓氏から寄贈 犬養家関連資料(木堂・健・道子・康彦関係)
 ・江口明彦氏から寄贈 木堂書額・健書額

- ・三橋代里子氏から寄贈 木堂書額
- ・斎藤順子氏から寄贈 木堂書(マクリ)
- ・河内道雄氏から寄贈 木堂書額、山田^{せいさい}濟齊書額
- ・龍昌院から寄託 木堂書・木堂書状・犬飼松窓書等
- ・高田和美氏から寄託 木堂書軸
- ・上松 徹氏から寄託 木堂書簡
- ・犬養 拓氏から寄託(県) 木堂関係資料(木堂書・当選証書等)

ウ 岡崎嘉平太関係資料

- ・石野栄助氏から寄贈 精義塾機関誌「精義」、精義塾百年史
- ・堀口 修氏から寄贈 岡崎嘉平太、大和中学校訪問時の写真
- ・近藤正毅氏から寄贈 岡崎嘉平太、夫人時子からのはがき、書籍等
- ・(公財)精義塾から寄贈 精義塾機関誌「精義」等

3 地域文化振興事業

(1) 地域文化の創造、育成に関する事業

① 郷土文化財団クラシックコンサート

日時 9月4日(日) 14時開演

場所 奈義町文化センター

演奏 岡山交響楽団

曲目 ヨハン・シュトラウス2世作曲 ポルカ「雷鳴・電光」ほか

参加者 約400人

共催 奈義町教育委員会

後援 奈義町文化協会

② 会員作品展

会期 5月17日(火)～5月22日(日)

場所 岡山県天神山文化プラザ

出展 136点(絵画79点、写真53点、タペストリー等4点)

関連イベント 平成27年度の財団事業報告のパネル展示

来場者 857人(対前年度 △560人)

③ 県内各地で開催される各種文化活動の共催、後援

ア 第30回「下津井節全国大会」の共催

開催日 9月24日(土)・25日(日)

会場 倉敷市児島文化センター

主催 下津井節振興会、児島瀬戸大橋まつり振興会

イ 岡山県博物館協議会25周年事業の共催

「岡山の博物館めぐりスタンプラリー」の景品(特産工芸品)提供等

主催 岡山県博物館協議会

ウ 平成28年度「岡山県自然保護センター写真展」の協賛

4月～11月に募集し、29年中に岡山県自然保護センター等で展示

主催 岡山県自然保護センター、公益財団法人岡山県環境保全事業団

エ 後援 第71回春の院展・倉敷展ほか68件

(2) 苗木交付事業

古くから親しまれてきたサクラ・ウメの苗木を市を通じて地元コミュニティに交付した。

総社市 ソメイヨシノ(桜) 100本

植栽場所 総社市秦地区(林道沿線等)

(3) 伝統的工芸品保存事業

岡山県指定重要無形民俗文化財(民俗技術)に指定された郷原漆器展示即売会

「おしらせ」等による広報面での支援を行った。

期間 1月13日(金)～19日(木)

場所 倉敷天満屋4階美術画廊

4 受託事業

(1) 文化財庭園「後楽園」の管理運営受託

① 管理業務

園地、亭舎、樹木、タンチョウ等の維持管理

② 運營業務

入園、亭舎貸出、入園者等への情報提供等

Ⓢ 早朝開園 9月1日(木)～9月30日(金) 午前6:30から開園

10月1日(土)～11月30日(水) 午前7:00から開園

② 入園料のクレジットカード及び電子マネー決済対応 9月1日(木)～

③ 行事等運営

ア 伝統年中行事

- (ア) 茶つき祭 5月15日(日) 美作市海田茶摘み踊り保存会
- (イ) お田植え祭 6月12日(日) 哲西町はやし田植え保存会、神代郷土民謡保存会
- (ウ) 観蓮節 7月3日(日) 延養亭での箏曲演奏、茶席
- (エ) 名月観賞会 9月15日(木) 延養亭での箏曲演奏、茶席
- (オ) 稲刈り体験 10月11日(火) 岡山市立中央小学校5年児童120人
- (カ) 松のこも巻 10月19日(水)
- (キ) 初春祭 正月三ヶ日 延養亭での箏曲演奏、タンチョウ園内散策
- (ク) 芝焼き 2月3日(金)
- (ケ) 松のこも焼 2月22日(水)

イ 後楽園魅力向上委員会事業への協力

- (ア) ⑤ 春季夜間特別開園「春の幻想庭園」 4月29日(金・祝)～5月31日(火)
- (イ) 鶴鳴館文化講座「流店～水を眺める～」(「春の幻想庭園」期間中)
日時 5月21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)

18時～20時(17時30分開場)

講師 万城主任研究員

中央に水路を通し、色彩に富んだ奇石六個を配した全国的にも珍しい建物で、藩主の庭廻りや賓客の接待などで使われた休憩所「流店」付近を古地図で解説、その後園内を散策。

- (ウ) 夜間特別開園「幻想庭園」 8月1日(月)～31日(水)
- (エ) 鶴鳴館文化講座「廉池軒～蓮の咲いた時代～」(「幻想庭園」期間中)
日時 8月13日(土)、27日(土)19時～20時30分(18時30分開場)

講師 万城主任研究員

園内に建つ「廉池軒」の前の池に花が咲いていた時代の景色について古絵図を使い、昔と現在の園内景色の移り変わりを解説。

- (オ) 夜間特別開園「秋の幻想庭園」 11月18日(金)～27日(日)
- (カ) 冬の和のおもてなし 12月23日(水・祝)～27日(日)
- (キ) 春の和のおもてなし 3月1日(水)～7日(火)

(2) 岡山の先賢を顕彰する「犬養木堂記念館」、「岡崎嘉平太記念館」の指定管理

① 犬養木堂記念館

ア 第22回犬養木堂顕彰児童生徒書道展 平成28年3月16日(水)～5月5日(木)

特別賞 25点 入賞 412点 入選 980点

イ 木堂祭 5月15日(日) 参加者 500人

記念講話

演題 犬養木堂と古島一雄

講師 時任英人倉敷芸術科学大学教授

その他の催し お抹茶の接待・箏の演奏・生け花の展示

※古島一雄 1865(慶応元)年-1952(昭和27)年 兵庫県豊岡市出身

新聞記者、党人政治家。日本主義の杉浦重剛に師事。記者となり、日清戦争では、同僚であった正岡子規と従軍し戦況を報道した。1908年「万朝報」に入社。この間、頭山満らともつきあい対外硬運動に参加。また、孫文らの中国革命運動を支援。そのなかで犬養毅と知り合った。その後犬養に従い政界入りし、1911年衆議院議員となり、以来6回連続当選。立憲国民党、革新倶楽部に所属。加藤高明内閣の犬養通相の下で政務次官、一貫して犬養毅の側近として行動を共にした。戦後、吉田茂かつぎ出しに一役買い指南役として政界で重きを成した。

なお、同日、木堂会(東京)においても、約30人が集まり青山墓地への墓参、交流会が開催されたため、連携して木堂顕彰のための資料提供をした。

ウ 犬養木堂記念館所蔵 一品展29 5月28日(土)～6月26日(日)

木堂書(16点)を貼り合わせた屏風「木堂書貼り合わせ屏風」を展示し、その1点1点をパネルで解説。

エ 夏のミニ企画展「犬養木堂と政党変遷」 7月30日(土)～8月31日(水)

近代史・政党変遷や木堂の行動を説明したパネル、国民党の額、護憲三派の軸ほかを展示。木堂の苦闘やその後の政党政治の破綻など政党の変遷をたどりながら日本近代史を考察。

オ 和文化を楽しむ会 9月19日(月・祝) 当日入館者 250人

旧犬養家住宅(国指定重要文化財)では、投壺と投扇興の体験と実戦、木堂塾では、犬養木堂(日本棋院から追贈三段)が愛好していた囲碁を楽しんでいただけるように「碁会所」と「囲碁教室」を開催。また、地元中国学園大学・中国短期大学茶道

部によるお茶席を設置。

協力:投壺と投扇興を楽しむ会、中国学園大学・中国短期大学茶道部、

吉備地区囲碁同好会

カ 秋の企画展 「再発見！犬養木堂 一犬養家からの新資料公開」

10月8日(土)～12月8日(木)

新たに発見された息子宛の木堂書額や木堂が所蔵していた硯や墨などの遺品、木堂が亡くなったときに彫刻家朝倉文夫によってとられたデスマスク、木堂の動画(16mmフィルム)などを展示。

10月30日(日)、11月12日(土) 14時～(40分程度)学芸員によるギャラリートーク

なお、10月29日(土)には、犬養家ご遺族(犬養麗子・拓氏)も来館。

キ 衆議院憲政記念館への資料提供

議会政治実現のため閥族と果敢に闘う一方、政党の腐敗を戒め、普通選挙実現に努めた犬養毅と尾崎行雄の動向を関係資料により紹介する平成28年特別展「普通選挙をめざして一犬養毅・尾崎行雄」

木堂記念館から、護憲三派の軸「怨」の額など13点の資料を貸出。

場 所 東京都千代田区永田町1-1-1 衆議院憲政記念館

期 間 11月9日(水)～12月2日(金)9:30～17:00

ク 新春特別展「高校生が語る 木堂の書」 12月21日(水)～1月18日(水)

木堂の書を「木堂の書風比較」、「手紙からみる木堂の書」、「年代順にみる木堂の書」、「小品でみる木堂の書」の4部門に分けて展示。岡山県立倉敷青陵高校と埼玉県立川越南高校の書道部の生徒がそれぞれ木堂の書の解説文を担当、展示も行った。

1月8日(日)11時～(約1時間)高校生18人によるギャラリートーク

ケ 犬養木堂記念館所蔵 一品展30 1月21日(土)～2月20日(月)

木堂が印影横に「贗作有り」など添え書きをした「木堂印譜」、印刷出版された木堂の印譜集の展示。

コ 第23回犬養木堂顕彰児童生徒書道展 平成29年3月16日(木)～5月7日(日)

過去最高の3,800点の応募(小学校 177校 2,940点、中学校 89校 860点)

特別賞 25点 入賞 412点 入選 1,073点

サ 木堂記念館主催の企画展(4回)を対象としたスタンプラリー

全企画展見学者に記念品プレゼント。なお、各企画展にはダブルスタンプデーを設け、途中参加を可能にした。

シ 木堂記念館研究レポート作成

政治家以前の新聞記者として活躍していた木堂に着目し、どのような記事を書いていたか、また新聞記者から「政府に対抗する気鋭の政治家」への過程をまとめた。

題名 署名記事にみる 新聞記者としての犬養毅

規格 A4版 12ページ

② 岡崎嘉平太記念館

ア 第10回「嘉平太が愛したふるさと岡山写真展」 応募 145点

表彰式 5月15日(日)

展示 4月29日(金・祝)～7月3日(日)嘉平太記念館

7月19日(火)～7月24日(日) 岡山県天神山文化プラザ

イ 「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える」 第十五回講演会

日時 6月28日(火) 10:00～12:00

場所 岡山県立図書館2階多目的ホール 参加者 149人

演題 1 岡崎嘉平太の生涯と前川國男との接点

講師 初岡綾子岡崎嘉平太記念館主任(学芸員)

演題 2 岡山の前川建築と上海華興商業銀行社宅

講師 橋本功前川建築設計事務所所長

「前川國男の作品散歩」 解説付きで岡山市内の代表的な前川建築を散策

ウ 「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第十五回講演会講演集」

500部(10月)

エ 「絵手紙をかく会」 8月11日(木・祝)

記念館での小中学生の夏休みの思い出づくり 参加者 22人

オ 秋の特別企画展「岡崎嘉平太の学生時代と精義塾」

9月22日(木・祝)～12月26日(月)

初公開となる学生時代の写真や精義塾機関誌「精義」等を展示。中国との交流を生涯にわたって公私ともに続けるきっかけとなった中国人留学生と出会った県立岡山中学校、旧制第一高等学校時代も交え、精義塾での交友関係や当時影響を受けた

人々を紹介。

※精義塾 岡山県出身または岡山県に縁故のある男子学生のための寮。明治26(1893)年郷土の後輩のための独創的な学生の自治寮として在京の学生により創立、現在は公益財団法人精義塾(東京都文京区小日向1-21-13)として運営。

カ 秋の特別企画展関連イベント

・「岡崎嘉平太先輩と私」講演会 参加者 35人

日時 11月26日(土)13:30～

場所 きびプラザ第一会議室

講師 守分宣公益財団法人精義塾理事長

・スタンプラリー

期間中、土、日の見学者に記念品プレゼント

キ 岡崎嘉平太記念館においてよ！嘉平太塾

・第1回【展示】 岡崎嘉平太書『創造』のいま

ーミドリムシで、空を飛ぶ！ー 1月28日(土)～2月12日(日)

参加者 180人

・第2回【サイエンスショー】 楽しい科学いろいろ 2月1日(水) 参加者 200人

・第3回【学ぶ】やさしい日本語を学ぶ会① 2月7日(火) 参加者 10人

・第4回【学ぶ】やさしい日本語を学ぶ会② 3月7日(火) 参加者 7人

・【特別展示】2017年は酉年！ 2月13日(月)～3月12日(日)

ータンチョウの郷・岡山県自然保護センター展ー

参加者 390人

ク 第9回嘉平太が愛したふる里の子ども作品展 2月13日(月)～3月12日(日)

町内の小学校10校の6年生による絵画、書道等の力作を展示

ケ 第9回嘉平太が愛したふる里の子ども作品展 2月13日(月)～3月12日(日)

コ 嘉平太記念館紀要第4号の刊行

平成24年度～28年度までの企画展の実施状況等についてまとめた。

サ 「岡崎嘉平太記念館だより」の発行(7月・1月)

(3) 岡山県自然保護センター

タンチョウ飼養管理及び傷病鳥獣の保護の再委託受託、動植物の調査研究、自然

保護思想の普及啓発等業務補助

(4) 第十三回岡山県「内田百閒文学賞」の審査・表彰等に関する業務

主催 岡山県、(公財)岡山県郷土文化財団

岡山県からの受託事業として、運営委員会事務局を担い、本年度は審査、表彰式等を挙行了た。

運営委員会 6月30日(木)開催 審査要領、審査体制等の決定

- ・応募作品数 358編
 - ・第一次審査会 8月19日(金) 40編選出
 - ・第二次審査会 9月21日(水) 11編選出
 - ・最終審査会 11月29日(火) 贈賞作品(最優秀賞1編、優秀賞3編)の決定
- 最優秀賞 『プラット』 畔地里美(石川県)
- 優秀賞 『桃の寺』 伊藤大輔(愛知県)、『夏眠線』 小浦裕子(広島県)、
『大正受験事情』 馬場友紀(東京都)
- ・表彰式

日時 3月16日(木) 14時～15時50分

場所 岡山県立美術館 2階ホール